

議会運営委員会 委員会視察報告

令和5年12月26日

委員長 川名 ゆうじ

視察行程 令和5年11月21日から22日まで

11月21日 兵庫県西脇市
議会改革について
広聴について

11月22日 岐阜県可児市
議会改革について
広聴について

視察者 委員長 川名 ゆうじ

副委員長 木崎 剛

委員 大野あつ子、深田貴美子、宮代一利、笹岡ゆうこ、小美濃安弘、橋本しげき

議長 落合勝利

副議長 ひがしまり子

議会運営委員会（令和5年11月21日から同月22日まで）

日 時	令和5年11月21日 午後2時から午後4時まで
視察先	兵庫県西脇市
テーマ	議会改革について 広聴について
目 的	議会による広聴、議員間討議、委員会活動活性化等、先進事例を調査、研究し、今後の議会改革の参考とする。
内 容	<p>西脇市議会は平成20年2月、議員定数削減の陳情書が提出されたことから、議会が市民に見えていないと考え、議員定数調査特別委員会や議会改革特別委員会を設置し、平成24年12月の西脇市議会基本条例制定など多くの議会改革の取組を行っている。目指す議会の姿は市民にとってより良い政策提案能力アップを目標に、市民への見える化となる情報共有、市民参画による議会機能を強化している。具体的な市民参画は、「議会と語ろう課題懇談会」や「高校生版議会報告会」を設置し、市民からの提案、要望を受け止め、調査や議員間討議により議会としての政策にまとめることや、市長提案による議案についても、同様に議論して議決する仕組みを設けている。この「議会と語ろう会」は年間40回以上開催している。</p> <p>常任委員会では、市民団体と意見交換を行うために「課題懇談会」を設置している。また、所管事務調査を年間を通じて行い、報告書を作成し政策提案としてまとめている。陳情を市民からの政策提言と位置付け、タイムリーに審査を行うために毎月開催している。説明は必要に応じて説明員の出席を要請しているが、議案審議がない場合は課題について委員間で議論している。</p> <p>特徴的なのは、毎定例会終了後に議会運営委員会を開催し、前日までの定例会の反省会を行っていることである。質問の内容や議長の采配、執行部の対応などを協議し、議会機能の向上を図っていることだ。予算→決算→予算→決算のサイクルを作り、予算、決算を連動させるほか、一般質問の内容を議会運営委員会で協議し、質問内容によっては常任委員会の所管事務調査として付託し、政策として実現を目指している。</p> 
成果（参考になった点）、課題等	<p>まず、市民に聞くことを前提として議案審議を行うこと、計画的な研修制度、市立図書館との連携、議長選挙など多くの参考事例を調査することができた。議員個人の活動だけでなく、議会、委員会として課題を認識し、調査研究を行い政策としてまとめ執行部に提案し、実現をしていることは、武蔵野市議会でも参考にしたい。そのためにも、議会による広聴、議員間討議の充実、委員会活動の充実が必要であり、今後の議会改革の議論のテーマとして取り組みたい。</p>

議会運営委員会（令和5年11月21日から同月22日まで）

日 時 令和5年11月22日 午後2時から午後4時まで	
視察先 岐阜県可児市	
テーマ 議会改革について 広聴について	
目 的 議会による広聴、議員間討議、委員会活動活性化等、先進事例を調査、研究し、今後の議会改革の参考とする。	
<p>内 容</p> <p>可児市議会は市民参画で地域の課題を解決する議会として活動しており、決算審査からの提言からの予算審査の充実、広報機能の充実、常任委員会の充実、広聴機能の充実、議会選出監査委員からの議会報告により、政策決定を行う仕組みを作り上げている。</p> <p>決算審査からの予算審査は、議長、監査委員を除く全議員で予算決算の常任委員会を設置し、審査を行うだけでなく、議会報告会や地域課題懇談会などによる市民意見を反映し、議員による自由討議を行い、全会一致で「提言」をまとめ市長へ通知している。予算審査では、この「提言」がどのように予算編成に反映されたかの報告を受け審議を行うとしていた。提言は、他の常任委員会でも行われている。</p> <p>議会報告会は年に二回開催し、各種団体との懇談会、地域課題懇談会を随時開催し、議会からの報告の他に、市民意見を聞き、情報収集を行いオンラインでも開催している。</p> <p>特徴的なのは委員会活動の充実で、議員の一般質問の内容を委員会で協議し、所管事務調査に加えることと、委員会全会一致による「委員会代表質問」を行っていることだ。「委員会代表質問」は、議員の一般質問、所管事務調査などから緊急性、必要性を勘案し、質問を行うかを協議、さらに質問者と論点、想定問答などの検討も行い、議会としての政策を実現している。</p> <p>広聴機能の充実では、子育て支援施設について「ママさん議会」を開催し、直接、市民意見を聞き施設運営に反映することや、若い世代が都市部へ流出している現状から、課題解決型キャリア教育として高校生議会を開催している。若者の投票率が低いことから高校生による模擬選挙を実施し、投票率の向上を果たしている。小学生向けには、子ども議会を毎年開催し、議会を知るだけでなく、財政難から廃止する事業を議論し、採決をするなどの主権者教育も行っていた。令和4年からは中学生議会も開催している。議会選出監査委員と議会との連携による、市民福祉向上も目指していた。</p>	
<p>成果（参考になった点）、課題等</p> <p>決算と予算の連携、委員会代表質問による議会からの政策実現、議長選挙の実施方法などは参考にしたい。補正予算を常任委員会に付託することによる課題があるため、予算決算の常任委員会にすることや、武蔵野市議会では子ども議会について検討しているため、可児市議会における子ども議会、中学生議会の手法は参考にしたい。</p>	